



the Lion



三島スカイウォーク

2023-2024 Vol. **2**

- 地区ガバナーアピール
- アクティビティ紹介
- 地区大会案内
- 事務局だより

地区ガバナーアピール



地区ガバナー

前 田 磨

皆様におかれましては令和6年の新春を健やかに
お迎えになり謹んで新年のお慶びを申し上げます。
また昨年はライオンズ活動に対しまして多大なるご
高配を賜り、厚く御礼申し上げると共に本年も宜し
くお願い申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍も五類に移行され飲食・観
光含め経済も回復傾向となり年末年始も賑わいが戻
り、本年は良い一年にと期待した元旦の団欒のひと
時に思いもよらぬ震災が襲い掛かり甚大な被害に見
舞われ辛く重い幕開けとなりました。私たちを取り
巻く自然環境や経済環境などいつ何が起こるか想定
できない目まぐるしく変化する時代、これからは様
々な環境に対し如何に順応出来るかが必要不可欠と
思います。

今年度私共のスローガンは“変革への順応 未来
を拓く” We Sarve “の絆”とさせていただきます。
組織や地域が生き残るには強い者でも頭の良い者
でもなくその変化した環境にどのように取り組み順
応していくかが必須となります。

昨年7月にボストンにてガバナーに就任させて頂
き早半年以上となるわけですが、その間14ゾーンへ
の公式訪問や統一アクティビティ、また周年式典など
を通じて各クラブはもとより多くのメンバーの方々と
の交流・懇親を深めさせていただきました。その中
で各ゾーン・各クラブそれぞれが違った環境下では

ありますが、様々なアクティビティやLCIF・会員増強
等に積極的に取り組まれ改めて感謝すると共に敬意
を表します。

私の今年度基本方針は1、会員増強（ミッション
1.5）・クラブ強化（支部クラブ） 2、変革への順
応（LCIF） 3、笑顔溢れる奉仕活動 4、会員の
資質向上・満足度UPとさせていただきます。
上半期を振り返りますと会員増強やLCIFなどの数字
に於きましては一定の成果が出、またGST・GLT活
動につきましても積極的に取り組んでいただいてお
ります。これもひとえにZC・クラブ会長はじめ会員
の皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年の4月21日には“第70回地区年次大会”が
三島にて開催されます。“早く行きたければ一人で行
け、遠くへ行きたければみんなで行け”というアフリ
カの諺があります。一人でも多くの皆様と共にその日
を笑顔で迎えられるように私も下半期に向けより
一層精励努力する所存ですので変わらぬご支援ご協
力をお願い申し上げます。

結びに、能登半島の震災によりお亡くなりになり
ました方々のご冥福をお祈りいたしますと共に被災
された皆様にお見舞いを申し上げ一日も早い復興を
お祈りいたします。

本年一年の皆様のご健勝ご繁栄を心からご祈念
申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

佐鳴湖でのヨシ刈り奉仕作業

1 R・1 Z 浜松 LC



2023年度の浜松ライオンズクラブのアクティビティとして、11月11日（土）に佐鳴湖のヨシ刈りを実施いたしました。今回は静岡県浜松土木事務所様よりの突然のお声掛けでもあり当クラブ単独での実施となりました。場所は佐鳴湖の西岸で当クラブのみならず浜松西法人会青年部様、浜松市立入野中学校ボート部様（約40名）にもご参加をいただき、総勢92名での作業となりました。また土木事務所様にもお越しいただき、佐鳴湖でヨシ刈りを行うことの意義や作業についての注意事項の説明などを行っていただきました。水辺のヨシは1.5mほどに成長しており、作業範囲の周辺はヨシの陰で湖が全く見えない状態でしたが、当日は天候も良く多少の風があったものの心地よく作業を行うことができました。午前10時の作業を開始から終了の11時30分まで支障なく作業は進めることができ、大半の湖岸の作業範囲からは湖が見えるようになりました。

また湖岸のゴミ拾いをヨシ刈り作業中のみならず作業終了後にも行い、佐鳴湖の美化に努め、刈ったヨシはしっかりと紐で束ねて茶畑の肥料として回収をしていただきました。

今回のヨシ刈りでは大きな怪我もなく、無事に作業を終えることができました。

「日本一汚い湖」と言われた佐鳴湖ですが、水質改善が進み2021年にはワースト15位を脱出し水質改善の傾向にあるようです。

当クラブでも今期のヨシ刈り作業を浜松入野中学校ボート部の皆様、ならびに浜松西法人会青年部の皆様と合同で行うことができ、佐鳴湖の水質改善ならびに浜松市の環境保全と青少年育成にも貢献できたことの意義を改めて実感いたしました。

今後に於きましても引き続き、継続事業として取り組んでまいりたいと感じました。

地区統一奉仕の日「フードドライブ事業」

1 R・2 Z・3 L C
(磐田・森町・袋井)



「334C地区71クラブ統一奉仕の日＝フードドライブ事業（10月15日実施）」も今年度で6回目となることから、メンバーの間でもその言葉も活動内容も周知することとなり、1R2Z・3クラブ（磐田・森町・袋井）でもこの取り組みに賛同し、協力しました。

コロナ禍後や戦禍の影響による値上げ等により「厳しい生活状況下にある家庭」が社会問題になっていますが、こうした状況は私たちが目にする機会がないだけで想像以上に多いと思います。一方で食料品が余り処分に困っているという現状も・・・。

各クラブでメンバーから寄せられた寄贈物品を収集し、収集場所である袋井LCへ届けられた品々はお米100キロ以上、乾麺、調味料、インスタント食品、飲料等段ボール15箱以上と金銭83,000円。

一斉実施日は袋井まつりと重なったため、日程を前倒ししての開催となりましたが、「フードバンクふじのくに」事務局長の望月様が集荷に来てくださることになり、贈呈の模様を中日新聞にも掲載していただくことができました。

望月事務局長からは「コロナ禍で物価が高騰し、フードドライブのニーズが高まっている。必要な食品を集めていただけるのでありがたい」と感謝の言葉をいただき、また出崎ZCも「こんなに多くの食品等が集まったのは久しぶり、これからも支援の輪を広げていきたい」と。

すべての人々が元気で健康的な生活を送るための一助、そして、ひとりひとりの善意は小さい物でも地域社会の善意を呼び起こし、温かい支援の輪が広がっていくことを願います。

奥浜名湖国際ピアノフェスティバル

1 R・3 Z 奥浜名湖 L C



2023年 奥浜名湖ライオンズクラブでは、CN60周年記念事業として、【奥浜名湖国際ピアノフェスティバル】を開催しました。

当クラブでは、CN50周年に記念コンサートを実施以来、「音楽のまち 浜松」にあるライオンズクラブとして、未来の音楽家を応援する事、音楽を身近に楽しんでいただく事、音楽のまち浜松から音楽の素晴らしさを発信し音楽文化の発展に貢献する事を目的に、不定期ではありますがコンサートを開催してきました。

そして今回のCN60周年では、アマチュア・プロの両面において、ピアノの演奏を楽しむ人のチャレンジを支援し、地域一体となって未来の演奏家を応援する事、奥浜名湖地域の活性化を目指したコンクールを実施しました。

オンラインでの予選審査を通過した全国から集まった61名が12月2日の本選(地元サーラ音楽ホール)で素晴らしい演奏を披露し、来

場者の皆さんからは感激の声が溢れました。

また中学生・高校生・大学生・大学院・一般の参加者については、本選での演奏動画をウィーンのアレクサンダー・イエンナー教授に送り、グランドファイナル審査を行いました。

※本選国内審査員の評価にアレクサンダー・イエンナー教授の評価を加えたグランドファイナルの結果は12月10日に公式HP及びYouTubeにて発表いたしました。

<https://okuhamanako-lc.com>

コンクール参加者の皆様には、審査員からの講評と参加賞として地元の施設利用券を贈り、また今回は来場者の皆さんにも、心に残る演奏者を選んで頂く「聴衆賞」の投票を実施し、大変好評をいただきました。

今回はコンクールということで、順位を決めることにはなりましたが、どの参加者様も素晴らしく、これからの活躍が楽しみです。

ライオンズクラブ協賛 第5回掛川小中学生将棋大会

1 R・4 Z 大須賀LC



静岡新聞（2023年11月2日）



大須賀LCは、掛川市内の掛川LC、大東LCと共に、11月23日に開催される掛川小中学生将棋大会に協賛し、将棋によるまちづくり実行委員会の会長である久保田市長に、今年度も目録を手渡しました。

掛川市内外の児童生徒が将棋の技術を競い合うこの大会は、2019年に始まりました。新型コロナウイルスの影響で2020年から2022年までの3大会はオンライン対局で行われましたが、今年は4年ぶりに対面形式での開催となります。将棋は思考力、礼儀作法、そして生きる力を育むとされています。私たちは、子どもたちが将棋を通じてこれらの価値観を学び、成長する機会を提供することが重要だと考えています。そこで、将棋の振興を目的とした大会への支援を続け、掛川市を「将棋のまち」として発展させたいと思っています。

2023年1月8日と9日には、掛川城二の丸茶室で、第72期ALSOK杯王将戦七番勝負の第1局が開催されました。藤井聡太王将と永世七冠の羽生善治九段が対局したこの勝負は、将棋ファンにとって夢のような対戦でした。

市内はもちろん、全国的にも「王将戦フィーバー」が巻き起こり、将棋への熱狂が街を包み込みました。前夜祭や対局見学会、大盤解説会など様々なイベントが開催され、子どもたち向けのこども王将戦も行われました。また、地元の食文化を取り入れた「勝負めし」や「おやつ」が話題となり、地域の和菓子店も注目されました。

掛川市は14年間にわたって王将戦の舞台を提供しており、市民活動としても将棋に力を入れています。毎週日曜日には「王将サロン」が開催され、市民が交流し、将棋を学ぶ機会を提供しています。市立図書館やたまり一などでは、「はじめての将棋教室」も開かれ、将棋の普及に貢献しています。

この将棋大会が、子どもたちの成長と未来に貢献する素晴らしい機会となることを願い、私たちは「We Serve」の理念のもと、子どもたちが健やかに成長できる環境を整えることに取り組んでいます。そして、王将戦を「将棋のまち掛川」の契機にして、「掛川からプロ棋士を輩出したい」という夢を抱いています。

334-C地区2R1Z 5LC合同アクティビティ アラートシンポジウム「守ろう、みんなの笑顔、地域の未来」

2 R ・ 1 Z ・ 5 L C
(静岡・静岡葵・静岡橘・静岡青葉・静岡芙蓉)



2022年5月に334-C地区2R1Z、2Z、4Zのライオンズクラブが自然災害発生時に静岡市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターに対し支援する連携協定を締結しました。昨年9月の台風15号は、各クラブでアラートについての重要性を感じる出来事でした。

そこで今年度の2R1Z合同アクティビティは、アラートシンポジウム「守ろう、みんなの笑顔、地域の未来」を開催することとしました。

開催にあたり災害に関するボランティアの知識を深めるために、静岡県ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座に5クラブのメンバーが参加(25名)し、静岡県知事認定証を取得、知識をもって臨むことが、今回のシンポジウム開催の効果を高めると考え準備をしてきました。

シンポジウムでは、社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会 川島 徹也 氏、336-B 地区 1R1Z 岡山みらいライオンズクラブ L 藤井 信英(一社)日本ライオンズアラート委員会西日本統括リーダー)、332-A地区 1R1Z 青森ZEROライオンズクラブ L 木村 知紀

(一社)日本ライオンズアラート委員会 東日本統括リーダー)を講師にお迎えし、災害に対する意識を高めるための講演を行いました。

当日は、2R1Z 5クラブのメンバーの他、スペシャルゲストとして前田地区ガバナーをはじめ地区役員の皆さま、2ゾーン、3ゾーン、4ゾーンの皆さまもご参加、総勢181名参加となり、アラートへの関心の高さを感じることが出来るシンポジウムとなりました。

アクティビティの協力金(423,000円)は静岡市社会福祉協議会へ、排水用ポンプ及び耐圧ホース等周辺備品含め2セット、送付機及びダクトセット等周辺備品含め4セットを贈呈。後日、御礼状を頂きました。

これまでアラート委員会は静岡ライオンズクラブにしか存在していませんでしたが、シンポジウム終了後、静岡葵ライオンズクラブもアラート委員会の設置を決定しました。さらに、他のクラブでもアラートに関する検討や情報のクラブ内共有を行う動きが多く見られ、アラートへの関心と共有意識が高まり、大きな成果を達成することができました。

盲導犬に恋をして

2 R・2 Z 蒲原LC



8年前に、私たちは盲導犬育成のための募金活動だけでなく、盲導犬のことを多くの人に知ってもらふことによって、社会に対して何か働きかけが出来るのではないかと考えました。どんなことを始めたかと言うと。

小学校で盲導犬の学習会を開いてもらいます。PR犬と訓練士に来てもらい、目の不自由な人や盲導犬ことを話してもらい、盲導犬に実演してもらいます。

時に実際に盲導犬と暮らしているユーザーさんの参加もあります。

次に、盲導犬に関する本をプレゼントします。盲導犬関連の書物はたくさん出版されていて、どの本を送ろうかと毎年選ぶのに苦労します。

本をできるだけ多くの子供たちに読んでもらえるよう毎年読書感想文コンクールを開催しています。

先生方の負担にならないように、あくまでも小学生の自主的な参加を呼びかけます。そのため全校生徒に配布してもらうためのチラシを作ります。チラシにはこれまで寄贈したすべての本の写真とコメントを入れて、興味を持って読んでもらえるような工夫をしています。

「本を読んで盲導犬へ手紙を書いてみよう。」という呼びかけは、盲導犬に対する自由な気持ちを表現してほしいと思うからです。

これまで寄贈した本は、「盲導犬クイールの一生」「ベルナのしっぽ」「こんびら狗」「クレアのあかちゃん」「光をくれた犬たち」「盲導犬不合格物語」「盲導犬の子犬と暮らした358日」「見えないボクと盲導犬アンジーの目もあてられない日々」の計8冊。

子供たちからは、「私も人の役に立ちたい」「人を助ける人になりたい」「あきらめずにやりたい」「盲導犬は道具じゃない」「お前はえらいなあ、まけられないな」「困っている人に声をかけたい」というような感想が寄せられます。

盲導犬は、子供たちにこんな思いを抱かせてくれる、社会にとってとっても大切な存在なのです。盲導犬を通して子供たちから大切なことを教えてもらう日々です。

第12回榛南LC杯争奪剣道大会

2 R ・ 3 Z 榛南 L C



旧来より武道特に剣道の盛んな地域であり、幾多の優秀な選手・指導者を輩出している榛南地域であるこの地で、礼節を重んじる日本武道の発展と、青少年の精神的な安寧を醸成することにつながればと願い継続している事業です。

一時は、新型コロナウイルス感染症の影響下で年少少女たちの安全を第一に考えて、休止を余儀なくされたものの、2012年度から事業を開始したこの大会は、今回12回目開催を迎えることが出来ました。

出場された選手の皆様は、この大会を通し、日頃の稽古で得た「心・技・体」の力を存分に発揮され、心に残る試合が繰り広げられ、大変有意義な素晴らしい大会となりました。競技終了後の選手たちは晴れやかで清々しい表情を見せてくれました。

剣道連盟、ご父兄の皆様から「子供たちの成長を見ることが出来てよかった。」「競技する場をいただいて嬉しい!」など、多くの感謝の言葉をいただきました。

榛南ライオンズクラブも現在の多様な文化の中で、榛南の地に剣道が末永く根付き、子供たちが剣道の精神を学び続けることを願っています。

少年・少女剣道・中学剣道部と各地域の指導者の皆様方、そして地域の皆様とともに、今後も更なる青少年の健全育成のために、クラブ会員一同今後も取り組んでいく所存です。

《大会結果》

競技参加者211名（36チーム）

小学生の部	優勝	青島剣道スポーツ少年団
	2位	東武会
	3位	洗心会
中学生男子の部	優勝	吉田中学校
	2位	青島剣道スポーツ少年団
	3位	榛原中学校
中学生女子の部	優勝	吉田中学校
	2位	御前崎中学校
	3位	青島中学校

静岡市母子寡婦福祉会へ寄付

2 R ・ 4 Z ・ 5 L C

(静岡駿府・静岡けやき・静岡リバティ・静岡弥生・静岡翼)



2023年10月9日（祝）ZC主催2R4Z懇親チャリティゴルフ大会を5年ぶりに開催することになりました。今までがコロナ禍という事もあり、様々なイベントや集まりがキャンセルになり、世間が閉塞感の漂うなか、やっと今年のゴールデンウィークを過ぎたところから規制が外れ、少しずつみんなが開放的になってきました。今期のZCの目標はコロナ禍以前に戻ろうということで、いままでやっていた行事を復活させようということです。その一つの行事がチャリティゴルフで、大会当日はあいにくの雨模様でしたが、久しぶりの行事でしたのでたくさんのメンバーが参加してくれました。ここでの収益金は毎年10月に行われる5LC合同アクティビティの原資になります。今回はひとり親家庭の日常生活を支援している「静岡市母子寡婦福祉会」様に支援金として325,400円を寄付いたしました。同団体は子育て支援や、生活困窮世帯の学習支援や食料支援等をしている団体です。私たち2R4Zのクラブもクラブ単位で支援（ランドセル寄贈等）をしていて、これまでも4Zには関係があった団体です。

昨今、ひとり親家庭が増え普通の生活ができないなどの悩みを抱えた家庭が存在し、社会問題になっています。以前からライオンズクラブが支援をしている「こども食堂」もそうですが、夏休み後児童や生徒が登校してきたときに、やせ細った姿をみると十分な食事を与えられない家庭が一定数存在していようです。同団体は他にもそうした子供達にキャンプや日帰り旅行などを企画し、癒しを与えています。こうした問題にいままでもライオンズクラブは手を差し伸べてきたと思いますが、今後より一層の協力が必要になってくると感じています。

今回の贈呈式は静岡市役所にて、理事長の増田真理恵様ほか女性スタッフ2名男性スタッフ1名参加のもと、ライオンズクラブ各クラブ会長5名ほか地区役員1名で執り行われました。いままでや今後の問題を説明され、まだまだ知らない・わからない事があると思ひ反省しながらも有意義な時間を過ごせました。

今後は新たな宿題も頂いておりますが、次年度にうまく引継ぎライオンズ活動が少しでもより良い社会生活ができるように頑張りたいと思います。

沼津5LC ライオンズ文庫

3R・1Z・5LC

(沼津・沼津千本・沼津香陵・沼津中央・沼津駿河)



我々3R1Z沼津5LCは、合同アクティビティである「沼津5ライオンズクラブ ライオンズ文庫」を、今年度も沼津市内の公立小学校23校に図書への寄贈を実施しています。

この合同事業は、4年前の久保田紀之ガバナーの「身近な地域社会に対し、誇りを持てるアクティビティを、ゾーン等の協働でインパクトのある活動を創造する。」との基本方針に沿って、地域に今必要とされているアクティビティを模索し実現に向け行動しました。調査過程において、沼津市長や教育長のご意見を伺う機会があり、そこで「沼津市内の小学校では、子供たちに十分な本を購入する余裕がない。」とのお話を聞き、幹事会で話し合い、各小学校に子供たちが望む本を調べてもらい、その本を合同ACTとして支援をすることを決めました。初年度は、沼津5LCの特別ACTとし、各校1万円以内で子供たちが希望する本を寄贈し、その後、「沼津5LC ライオンズ文庫」と名称を定め、特別基金として予算計上し本格的に

5LCの合同継続アクトとなりました。

2年目以降は、各小学校への支援金額も2万円以内と増額し、昨年度からは、将来を担う子供たちに、ライオンズクラブの活動を知って欲しいと考え、5クラブの幹事が集まり、「沼津5ライオンズクラブ ライオンズ文庫」とライオンズ紋章のシールを作成し、多くの本に貼り準備しました。又、子供たちが選ぶバラエティーに富んだ本を、各クラブの代表が手分けをして直接各小学校へ届けました。その際には、先生方や子供たちが出迎えて下さり、ご意見や感想を聞くことができ、従事したメンバーからは、地道な作業は大変ではあったが、喜び子供たちの笑顔が見られ、達成感と充実感を味わうことができ、忘れられない体験だったとの多くの感想がありました。

4年目を迎えた今年度も1月現在、希望図書280冊の在庫状況を確認しており、月内には、贈呈式やシール貼り作業をし、直接、子供達に届ける予定です。

小学校防風林植樹、就労支援事業所もちつき大会

3 R ・ 2 Z 富士吉原 L C



2023年10月18日に、小学校で防風林植樹事業を実施しました。この事業は富士吉原LCの今年の目標である環境保全をテーマにした活動の一環で、4年生～6年生の児童と富士吉原LCメンバーの約220人で松の苗木200本を植樹しました。

4年前に虫害によって枯れてしまった同校の防風林の再生と、児童たちが学びやすい環境作りを手伝う目的で実施しました。作業後には児童の挨拶で、自分たちの力だけではどうにもならなかったが、ライオンズクラブの皆さまの協力で防風林の再生が出来ましたと感謝を伝えてもらいました。今後も富士吉原LCのメンバーが一致団結をして様々な奉仕活動をしていけたらと思います。将来大人になったら、ライオンズクラブに入会したいと思ってもらえる機会にもなったかと思っています。

2023年11月7日に富士市にある田子の浦漁協食堂で「心のふれあいもちつき大会」を開催しました。毎年恒例の事業で、市社会福祉協議会が運営する障害者就労支援施設の利用者90名を招待して、まぐろの解体ショーやメンバーと交流しながらの、もちつき大会を繰り広げました。

まぐろの解体ショーのお刺身、もちつき大会のおもち、しらす丼などを就労支援施設の利用者と富士吉原LCのメンバーで海の幸を味わいました。

交流することで、お互いの価値観や考えを知ることが出来る貴重な機会となりました。毎年、施設の利用者の皆さんが楽しみにしてくれている事業で、今後も活動を継続していけたらと思っています。

献眼推進活動50年を迎えて

3 R ・ 3 Z 御殿場 L C



御殿場ライオンズクラブの献眼推進活動は、1973年7月「アイバンク委員会」が発足、メンバー全員による献眼登録者の募集からスタートしました。それから3年後の1976年12月に第1号となる献眼による角膜の提供を頂き、以来50年を迎える現在も活動を継続しています。

また2011年11月御殿場ライオンズクラブCN50周年の主要アクティビティとして、献眼者とそのご遺族のご遺徳に感謝し御殿場中央公園に「献眼顕彰碑」を建立し、毎月1日には担当委員会メンバーによる管理清掃を実施しています。

今般、2023年10月秋晴れの下、献眼推進活動プログラムの一つである「献眼者名簿奉安式」そして「献眼者に対する厚生労働大臣よりの感謝状伝達式」を御殿場中央公園「献眼顕彰碑」前と御殿場ライオンズクラブ例会場にて執り行いました。

当日は、前年度献眼者36名のご遺族（代表者17名出席）とご来賓をお招きし、献眼者のご芳名が記録された芳名帳を献眼顕彰碑に奉安し故人への感謝とご冥福を全員でお祈りし、その後例会場へ移動し「厚生労働大臣よりの感謝状」を勝又御殿場市長より伝達手交を行いました。

私達御殿場ライオンズクラブでは、アイバンク委員会発足後50年を経た今、2023年12月28日現在、献眼登録者数 5685名
献眼者数 811名。

数多くの方々の崇高なる人間愛に敬意を表すると共にご理解とご協力に感謝申し上げます。

我々メンバー「ひとりでも多くの方に光明の世界の光が得られますように」を合言葉に、これからも献眼活動を推進して参ります。

富士山南麓を彩りある街道に!!

3 R ・ 4 Z ・ 3 L C
(富士宮・富士宮中央・富士宮芙蓉)



3R4Zの合同アクティビティーの一環として、富士宮市主催による「彩りある街道づくり」事業に協力団体として参加しました。

この事業は、富士山登山道富士宮口に通じる、県道富士宮富士公園線、通称登山道沿い、篠坂交差点北側から旧料金所までの区間を、“いろは紅葉”や“ふじざくら”の苗木を植栽することによって、春は桜、初夏は新緑、秋は紅葉をと言った四季折々の富士山の光景を味わっていただき、富士山の名物となり観光客のリピーターを増やそうと、今から11年前より市の意向により始まりました。3R4Zのライオンズクラブが協力団体として作業のお手伝いを行っています。

本年は、温かさが残る2023年11月11日に富士宮ライオンズクラブ7名富士宮中央ライオンズクラブ6名富士宮芙蓉ライオンズクラブ6名総勢19名が参加し、NPO法人富士山自然の森づくりの皆さんの指導のもと行いました。

この日、用意された苗木は、“いろは紅葉”70本で、須藤秀忠富士宮市長の号令のもと作業が開始され、約一時間半のアクティビティでありました。

これまでの10年間で総延長約4kmに“いろは紅葉”810本、“ふじざくら”150本、合計960本の植樹をしてきました。平成30年からは、過去に根付かなかった所の捕植作業を中心に行い、その結果、道中は根付いた苗木が赤く染まったところを確認できました。しかし富士山麓の寒さや、鳥獣による食害等の自然環境の厳しさもあり、そう簡単な作業ではありません。そのため、こういった毎年の作業が重要になってきます。

地道な作業ではありますが、幾年か幾十年か先の将来、訪れた観光客の心に、その華が咲くことを祈り、今年もアクティビティを行いました。

ヘリコプター飛行体験会

4 R ・ 1 Z 西伊豆 L C



今年度CN50周年を迎える西伊豆ライオンズクラブは、CN50周年記念イベントとして2023年7月13日・14日にヘリコプター飛行体験会を実施致しました。

「いなかの子ども達に夢と誇りを！」をテーマに松崎町（松崎小学校）と西伊豆町（仁科小学校・田子小学校・賀茂小学校）の5年生児童を招待し、子供たちに今住んでる地域を上空から実際の目で見て、地域の良さを再確認してもらい、将来の為にこの経験を生かして貰いたいという思いを込め、実施する事となりました。

西伊豆町の堂ヶ島ヘリポートを発着地として堂ヶ島の海岸線などの景勝地を1周する約5分間、3名搭乗のフライトとなります。当日の天気は曇りでやや視界不良で、朝の段階では飛行できるか出来ないかの瀬戸際でしたが、子供たちが到着すると、視界も良くなりパイロットからOKサインが出て、飛行可能になりました。

子供たちは初めての体験でドキドキそわそわした様子で搭乗し、シートベルトを装着していざ出発です。周りの人々は「行ってらっしゃい」と手を振ってお見送りし、機内からは「行って

きます」と笑顔で手を振る児童の姿が見受けられ、その後5分間の飛行を楽しみました。

体験をした児童からは「初めて海や町を上から見れたし貴重な体験をできて良かった」「西伊豆町が一望でき三四郎島が良く見えて海がすごく広く感じた」「改めて西伊豆町はとってもきれいで自然が沢山あるいい町だという事が分かりました」との感想を頂きました。

この事業を通し、子供達を感じたこの経験は一生の思い出となってくれる事を願います。

また、体験された児童に貴重な思い出の提供が出来たことに、とても良い育成事業だったと感じております。

終わりに、この事業を計画した、故 堤 榮助会長の思いを下記に書き添えます。

【進学等でこの町を離れ、卒業後に就職して国内外を転勤しながらキャリアを形成する子達。地元に残り、地域の発展に寄与する子達。色々な人生を歩んで行くであろう子供が、自分達が生まれ育った町に誇りを持って歩いて行って欲しい。】

『静岡県立東部特別支援学校継続 “We Serve” 』

4 R ・ 2 Z 韮山 L C



「世界遺産・韮山反射炉」として知られる伊豆の国市寺家に有ります、静岡県立東部特別支援学校にて、10月8日（日曜日）世界統一ライオンズ奉仕デーに毎年合わせ第30回目となる教員の皆様とクラブメンバー全体で55名にて奉仕作業を実施しました。

今年度は、校庭の花壇の草取り、植木の剪定美化清掃作業になりました。

作業開始前に支援学校、長崎良夫校長の挨拶が有り晴天の中作業開始、クラブメンバーは脚立・はしご・を使い立木の剪定及び植木小枝のバリカンカットを行い、先生方には花壇の草取りや切り枝の袋詰めをお手伝い頂きました。

さすがに長年にわたる奉仕作業で培ったチームワークに驚きました。

又、先生方も家庭家族が有る中で、大切な休日を奉仕作業に充てて頂き、多くの先生方に

毎年参加して頂きました事に感謝したいと思います。

普段はなかなか先生方で行う時間が取れない中で『一年に一回このような美化清掃を継続していただけるのが大変助かっています、生徒たちが気持ちよく登校でき、学校生活が送れます』とのお言葉を頂きました。

韮山ライオンズクラブは、奉仕作業だけでなく、静岡県立東部特別支援学校の学校運営委員協議会に所属をしていますので、年間三回の運営協議委員会の中で様々な事に協力をし、携わっていきたいと思っています。

人の支え合いの中で自分が存在していること。助け合うことの大切さを知ること。感謝の心を持ち、感謝される喜びを感じることが出来た、世界統一ライオンズ奉仕デーとなりました。

ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区 第70回年次大会へのお誘い



大会会長
地区ガバナー

前田 磨

地区内メンバーの皆様方には穏やかな陽光の中、気持ちも新たに新春を迎えられたことと拝察いたします。常日頃からライオニズム高揚の為您精進を賜り、心より感謝申し上げます。今年度も地区年次大会のご案内をお送りする時期となりました。

記念すべき第70回地区年次大会は来る4月21日(日)、三島市・三島市民文化会館「ゆうゆうホール」を会場に開催致します。

今年度当初、地区スローガンとして「変革への順応 未来を拓く “We Serve” の絆!」をご提示申し上げ、時代に順応したライオンズとして未来につながる奉仕活動に取り組みましょう、とお願い致しました。メンバーの皆様方には温かいご支援とご協力をいただき、順調に上半期を経過できましたことに心より感謝を申し上げる次第です。

地区年次大会は地区内71クラブのこの一年間の奉仕活動の集大成の場であると同時に、地区内メンバーが相集い、奉仕活動を振り返り、讃え合って、次年度の一層の活躍を期する場でもございます。

今大会ホストの4R2Z・10クラブメンバー一同、年度当初より心をひとつに準備を進めて参りました。是非、多くの皆様にご参加をいただきたくご案内を申し上げます。今回のアトラクションは、「U-15 伊豆中学生選抜吹奏楽団」の演奏をお届けします。若さ溢れるフレッシュなライブをご堪能いただければ幸いに存じます。

また、記念チャリティゴルフ大会につきましては3月13日(水)、裾野市の東名C.C.にて開催致します。新緑の中、爽やかなプレーと共に多くのチャリティにご協力を賜りたく、奮ってのご参加をお待ちしております。新緑の4月21日、「水の都」三島市へのご来駕を心よりお待ち申し上げます。



年次大会委員長

米山 智

来る4月21日、ライオンズクラブ国際協会334-C地区第70回年次大会が三島市民文化会館・ゆうゆうホールにおきまして皆様と共に開催されますことを大変うれしく思います。

開催地の三島市は富士山を望む風光明媚な伊豆半島の入り口にあり、新幹線三島駅は伊豆観光の起点で、伊豆半島には多数の観光客が訪れる温泉施設も数多く、何より東京に近いということで、コロナ禍の前は多くの観光客が訪れていました。ここ数年は大変な状況が続きましたが、最近復活し始めてきましたのでもう少しの辛抱で完全復活が望まれるところです。

三島駅から三島大社への道筋には三島ライオンズクラブが建立した12基の文学碑があります。午後からの大会前に会場近隣の三島大社や楽寿園等にも足をお運び頂ければ幸いです。

春爛漫の4月、三島で開催いたします「第70回地区年次大会」へのご参加を大会役員一同心よりお待ち申し上げます。

第70回地区年次大会プログラム

3/13

(水)

第70回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会

◆と ころ／東名カントリークラブ

裾野市桃園300 TEL 055-992-3331

◆受 付／午前7時00分～

◆参加登録料／ 5,000円

◆プレイ代／ 14,800円予定(セルフプレー・食事付)

※詳細は別紙ご案内を参照願います。



4/21

(日)

地区年次大会；会場 三島市・三島市民文化会館「ゆうゆうホール」

三島市一番町 20-5 TEL 055-976-4455

1. 委員会〈資格証明・議事運営、指名選挙〉

◆と き／登録受付 12:30~12:40

委 員 会 12:40~12:50

◆と ころ／ゆうゆうホール・

2. 代議員会

◆と き／登録受付・投票 12:30~13:10

代 議 員 会 13:30~13:50

◆と ころ／ゆうゆうホール・小ホール

3. 大会式典／アトラクション

◆と き／登 録 受 付 12:30~13:50

大 会 式 典 14:00~15:30

アトラクション 15:30~16:00

「U-15 伊豆中学生選抜吹奏楽団演奏会」

◆と ころ／ゆうゆうホール ・大ホール



*アトラクションのご紹介



U-15 伊豆中学生選抜吹奏楽団

学校の枠を越えた、ここでしかできない音楽を体験しよう!

「もっとやりたい!」、2020年9月に県東部で発足した

「U-15 伊豆中学生選抜吹奏楽団」は、オーディションに合格した東部在住の中学生によって結成される吹奏楽団です。

月1回、専門講師によるパートレッスンで演奏技術の向上を目指し、毎週の合奏は三島市民文化会館ホールという恵まれた環境で、川口三郎先生の指揮のもと真剣に楽しんでいます!

事務局だより

2023～2024年度 第3回キャビネット会議報告

2023～2024年度第3回キャビネット会議が1月26日(金)静岡市において開催されました。
当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。



キャビネット会議会場

《審議事項》

1. 2023～2024年度地区会計中間報告並びに監査報告
2. 地区役員選出の申し合わせ事項(改訂案)
3. 次期地区役員・クラブ三役セミナー実施について
4. 第70回地区年次大会実行表改定・議事規則・代議員議事運営構成表・各案と、当日投票実施手順・年次表彰規定の確認について
5. 第70回地区年次大会・前当日スケジュール並びに分担・使用会場控室等について
6. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナー立候補者承認並びに、次期キャビネット幹事・会計予定者について

※キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開されます。
会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。パスワードはクラブ事務局又はキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

2024年夏季YCEプログラムは…

夏季派遣・受入ともに実行される予定です。詳細は、判明次第都度各クラブ宛に連絡いたします。

2024年2月～キャビネットスケジュール

- 2/ 1 (木) 第70回地区年次大会 第2回実行委員会
- 2/ 9 (金) デジタルツール説明会
- 3/12 (火) 第4回ガバナーチーム会議 年次表彰最終審査会
- 3/13 (水) 第70回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会
- 3/22 (金) 第4回キャビネット会議
- 4/21 (日) 第70回地区年次大会
- 5/13 (月) 次期地区役員・クラブ会長・幹事セミナー
- 5/26 (日) 第70回334複合地区年次大会

◆表紙について

今年度のテーマは「文化」です。



三島スカイウォーク

2023年8月～2024年1月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ	逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
8月24日	L 佐野 弘 (富士宮中央LC)		11月17日	L 山田 夏子 (浜松LC)	
9月6日	L 堤 榮助 (西伊豆LC)		11月19日	L 水元 重友 (浜松リテイLC)	
9月30日	L 勝又 洋 (静岡駿府LC)		11月22日	L 泉 清 (静岡弥生LC)	
10月21日	L 浅井 紀雄 (浜松葵LC)		12月6日	L 加藤 学 (長泉LC)	
10月26日	L 望月 隆次 (清水羽衣LC)		12月11日	L 八木 京一 (磐田LC)	
11月1日	L 片川 昭壽 (島田LC)		12月30日	L 土屋 昭司 (大仁LC)	
11月11日	L 菊池 初彦 (富士タカオカLC)		1月1日	L 櫻井 淳 (焼津LC)	
11月16日	L 村田 朝子 (袋井LC)		1月10日	L 稲葉 慶太 (蒲原LC)	